

なぜ野党は指導者に相応しくないと判断したか

アル・マヤディーン 2026年1月6日

「CIA が野党は指導者にふさわしくないと判断、 トランプ大統領はマチャド氏を解任」

以下本文

ウォール・ストリート・ジャーナル紙が独占報道したように、 最近の CIA の情報評価では、ニコラス・マドゥロ政権の最高幹部、特に最近就任宣誓したデルシーア・ロドリゲス暫定大統領が、マドゥロ大統領が権力を失った場合にベネズエラの安定を維持するのに最適な立場にあると結論づけられた。

伝えられるところによると、この機密分析はトランプ大統領のベネズエラ政策に影響を与え、野党の指導者選出を拒否し、政権内部の人物を指名するに至ったという。

関係筋によると、中央情報局 (CIA) はここ数週間、トランプ大統領と一部の政権高官に報告書の内容を伝えた。報告書はマドゥロ大統領の解任を勧告するものではなく、突然の権力空白が生じた場合の国内情勢を評価することに重点を置いていた。

CIA の分析は、デルシーア・ロドリゲス氏と他の高官 2 名が、国の安定を維持できる有力な暫定指導者であると指摘した。他の人物の名前は明らかにされていないものの、ディオスタド・カベジョ内務大臣とウラジミール・パドリノ国防大臣は、マドゥロ大統領に次ぐ最も影響力のある人物と広く見られている。しかし、両名とも米国で刑事訴追されており、米国と協力する可能性は低い。

——マチャドは姿を消す ——

この評価は、トランプ大統領が野党指導者マリア・コリーナ・マチャド氏を排除する決定を下す上で重要な役割を果たした。彼女はトランプ大統領の最初の任期中に緊密な連携を保ち、ベネズエラへの米国の介入を公に支持していたにもかかわらず、トランプ大統領は彼女がベネズエラ国内で十分な支持を得ておらず、軍部やエリート層の実力者からも信頼を得ていないと判断した。

「マチャド氏は国内で支持も尊敬も得ていない」とトランプ大統領は記者団に語り、同氏が政権転覆の試みを主導しているという考えを否定した。

トランプ大統領は以前、ベネズエラとマドゥロ政権に対する暴力行為を扇動し、米国と「イスラエル」の極右勢力と連携さえしていたマチャド氏を称賛していた。ベネズエラでの暴力行為を明確に呼びかけ、ガザでの大量虐殺の最中にベンヤミン・ネタニヤフ率いるリクード党と連携していたにもかかわらず、彼女は2025年のノーベル平和賞を受賞し、トランプ大統領とその側近はこれを歓迎した。

しかし、制裁や外交的孤立化などの政権1期目の取り組みが政権交代をもたらさなかったことから、トランプ氏は個人的には野党が成果を上げられるかどうか疑念を抱くようになった。

——野党の「魔法のリアリズム」による政権奪取——

この政策転換は、ベネズエラへの米国の攻撃を受けて行われた。この攻撃により、マドゥロ大統領とシリア・フローレス大統領夫人が不法に拉致された。両名は「麻薬テロ」の容疑で裁判を受けるためニューヨークに移送されたが、両名は断固として無罪を主張した。

この作戦は、CIAがマドゥロ大統領の側近に築いた情報源と、ステルスドローンを含む監視資産によって可能になったとされている。デルタフォースは、マドゥロ大統領の居場所に関する正確な情報に基づいて襲撃を実行した。

しかし、専門家は、軍や政治エリートの支援を受けた有力な後継者なしにマドゥロ大統領を排除すれば、広範囲にわたる不安定化を招く可能性があると警告している。

チューレーン大学のベネズエラ専門家、デビッド・スミルド氏は、マチャド氏や他の野党指導者が政権を握るという考えを「魔法のような現実」と評した。スミルド氏は、安定した政権移行にはデルシー・ロドリゲス氏が内部から変革を起こす必要があると主張したが、米国との活発な交渉が行われているという情報は今のところない。

——ルビオ、マチャドを見捨てロドリゲスを脅す——

マルコ・ルビオ氏は長年マチャド氏を支持してきたが、週末のインタビューでは政権のトーンの変化に同調した。彼は、ベネズエラの現大統領代行であるロドリゲス氏が、政権との関係にもかかわらず、ワシントンとの交渉に前向きな姿勢を示していると主張した。

ルビオ氏は、ロドリゲス氏が米国の利益に沿って行動しない場合、米国は軍事的な「隔離」を実施し、制裁対象の石油タンカーを阻止し、ベネズエラの収入を断つだろうと警告した。

——トランプ大統領は「ベネズエラの将来は我々が責任を負っている」と改めて表明した——

トランプ大統領は記者団に対し、ベネズエラとその政治的軌跡を掌握するという政権の意図を強調した。

「我々が主導権を握っている」と彼は言った。「完全なアクセスが必要だ。彼らの国を再建するために、石油やその他の資源へのアクセスが必要なのだ」

ホワイトハウス報道官のカロリン・リービット氏は、情報機関の評価については直接コメントしなかったものの、政権はベネズエラを米国の利益に沿わせ、同国民の生活状況を改善するために「現実的な決定」を下していると付け加えた。

政府高官らが月曜日に議会に報告する準備を進める中、ワシントンの新たな方針は、ベネズエラの野党に対するこれまでの国民の支持からの劇的な転換を示しており、特朗普大統領のベネズエラ政策がいわゆる民主主義よりも石油の奪取を優先していることを明確に示している。

以上

.....

.....

アル・マヤディーン英語

出典：ポリティコ

2026年1月6日 03:32

「トランプ大統領、ロドリゲス氏に米国の要求に従うよう圧力：ポリティコ」

以下本文

トランプ政権は、ベネズエラのデルシー・ロドリゲス大統領代行に対し、前任者のニコラス・マドゥロ大統領が断固として拒否した大きな譲歩を求める一連の要求を提示したと報じられている。

これは、CIAの情報評価が最近、ニコラス・マドゥロ政権の高官、特にロドリゲス氏が、マドゥロ氏が権力を失った場合にベネズエラの安定を維持するのに最適な立場にあると結論付けたことを受けてのことだ、とウォール・ストリート・ジャーナルが独占的に報じた。

——ベネズエラとの協力に対する米国の条件——

Politico が引用した米国当局者によれば、ワシントンはロドリゲスに対し以下のことを期待している。

- * ベネズエラとの関連が疑われる麻薬の流通を取り締まる。
- * 米国の利益に敵対的であるとみなされるiran人、キューバ人、その他の「外国人工作員」を追放する。
- * 国が敵対国とみなす国への石油販売を停止する

米国当局はまた、ロドリゲス大統領に自由選挙を促進し、最終的には辞任するよう求めているものの、直ちに選挙の日程は設定されていないことを認めている。政権は「法と秩序」の確立があらゆる民主的プロセスに優先すると主張しており、事実上ベネズエラの主権は米国の管理下にある。

——ロドリゲス氏、米国戦略の要として標的に——

ロドリゲス氏は現在、米国の計画担当者から、ベネズエラをワシントンが望む方向に導く鍵となる人物と目されている。トランプ陣営は、米国筋によると、「彼女を処分して次の段階へ進む前に」ロドリゲス氏に協力を強いることができるを考えているという。

「ベネズエラは今のところとても親切だ。しかし、我々のような軍隊がいることは助けになる」とトランプ氏は述べた。「もし彼らが行儀よくしなければ、我々は第二撃を加えるだろう」

米国当局は、ベネズエラが「米国の利益に向かって前進する」ようにすることに重点を置いていると主張し、ワシントンの真の狙いがベネズエラの経済、資源、地政学的立場の支配を確保することにあることを強調している。

——米国がベネズエラの原油を要求、カラカスが応じる ——

トランプ大統領と陸軍長官ピート・ヘグゼス氏はともに、ワシントンがベネズエラの貴重な資源と石油資源を狙って同国を支配しようとしていることを認めた。

これに対し、ベネズエラ当局は国中における軍の全面動員を発表した。政府は新たに発布した法令に基づき、石油産業をはじめとする国家の安定に不可欠とみなされる主要産業に対し、暫定的な軍事政権を敷いた。

「国軍を全国に即時動員し、既存の国家権力を駆使して外国の侵略を撃退するよう命じる」と布告には記されている。「国家インフラ、石油産業、その他の主要国有産業の軍事化。これらの企業の職員は一時的に軍事政権下に置かれる。」

この決定は、強化された国家防衛措置の一環として、ベネズエラの陸、空、海の国境における警備とパトロールの強化を義務付けている。

以上

アル・マヤディーン英語 出典：ウォール・ストリート・ジャーナル 2026年1月6日